

2-⑧ 指導計画の改善(カリキュラム・マネジメント)

小中一貫校まつのやま学園における「E+タイム」の指導

小中一貫校まつのやま学園 十日町市立松之山小学校 武田 篤

1 研究の視点に関する実態

平成29年度に松之山小学校と松之山中学校の校舎一体化に伴って、小中一貫校まつのやま学園は開校した。今年度は、開校2年目、児童生徒数85名の小中一貫校である。当校では小中一貫校の特色を生かし、全ての教科で9年間の一貫したカリキュラムをもち、9年間の連続性のある指導が行われている。特に、「まつのやまタイム」（総合的な学習の時間）と「E+タイム」（外国語活動、外国語）は、当校の特色ある教育活動として重点的な取組が推進されている。

2 改善のための具体的な方策と取組内容

(1) 運営方針

『コミュニケーション力を身に付け、グローバル化に対応できる子どもを育てる』

(2) 具体的な取組

① 「E+タイム」の名称に込められた思い

「English」「Exchange（交流）」「Explore（探究）」「Expression（表現）」等の「E」を統合したイメージ。「+」は、これからのいろいろな可能性をプラス。

② 活動を通して育てたい力

○表現力（間違いを恐れず言葉で伝える力、自分が分かる単語で言い換えて伝える力、ジェスチャーやアイコンタクトなどの非言語で伝える力）

○受信力（話し手を受け止める態度、曖昧性に耐えて聞く力、反応を返す力）

③ 年間授業時数と授業内容・使用教材 \*小学部と中学部の外国語担当が作成

学 年	時 数	授業内容・使用教材
1, 2年	35 (週1)	学園独自の指導計画による
3 年	35 (週1)	外国語活動「Let's try!1」
4 年	35 (週1)	外国語活動「Let's try!2」に「Let's try!1」を加味
5 年	70 (週2)	外国語「We can!1」に「Let's try!1,2」を加味
6 年	70 (週2)	外国語「We can!2」に「Let's try!1,2」「We can!1」を加味
7~9年	10	外国語の年間時数140時間の中で実施（英語のみで、スポーツ、料理、映画鑑賞など）

④ 授業担当

学 年	1, 2年	3 年	4 年	5 年	6 年	7~9年
担 当	担任+ALT	担任+ALT	担任+ALT	中学部英語担当+ALT	担任+ALT	学級担任+ALT

\*5、6年は複式学級のため、担任が6年に入り、中学校英語担当が5年を担当する。（小中一貫校特例）

\*十日町市任用のJET-ALTは、火曜日以外は常時当校で業務にあたっている。（市のモデル校）

⑤ 授業打合せ

○週時間割の中に、各担任とALTの授業打合せ時間を設定（定期的な打合せ）

⑥ ALTと担任の役割

○ALT：授業プランの作成、教材の作成、授業の進行

○担任：授業プランの協議、授業の管理、児童の管理と支援、会話のモデル

⑦ E+タイムの環境整備

○空き教室を利用して「E+Room」を設置（・机、椅子等は設置せず活動のスペースを確保、  
・前面に大型テレビとPC、壁面に図表、棚に絵本等を配置）

3 取組の成果と残された課題

(1) 取組の成果

○児童の変容 ⇒ ・主体的な表現 ・相手意識をもった伝聞 ・外国への興味関心

(2) 残された課題

○ALT週1回 ⇒ ・担任の指導力の確保 ・打合せ時間の確保 ・授業準備時間の確保